

# 新年のごあいさつ



登別市議会議長  
辻 弘之

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては希望にあふれる新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、本市議会では、多様性に富む議会の実現を目指して活動を進めてきております。新型コロナウイルスへの対策としてだけでなく、障がいのある方や高齢の方、子育て中の方でも議会活動に参画しやすい環境を整えるため、オンラインを活用した委員会の導入を実現。また、政務活動費を内部監査し、適切な用途を議員同士で議論する仕組みづくりにも取り組んできております。さらには、議会事務局職員が議会改善に関する提案を行える制度を道内で初めて制定し、議員のみならず職員の参画による新しい議会組織の在り方を模索しています。

これらの活動は全て、多様な議員が個々の能力を発揮し、議会議論を充実させるための仕組みづくりに過ぎません。さらにその先を目指すべきは住民福祉の向上への貢献であることを忘れずに、本年も私たち議員一同、誠心誠意皆さまに寄り添った活動を続けてまいります。皆さまにおかれましては、市議会に対しまして引き続きさまざまなご意見やご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も幸せに満ちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長  
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。

皆さまが、新しい年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、北海道は2度の緊急事態宣言が発出されました。市民の皆さまには、感染拡大を防ぐため、手洗いやマスクの着用、人との接触を低減する取り組みなどにご協力いただき、心よりお礼申し上げます。現在、登別市内における感染状況は落ち着きを見せているところですが、新たな変異株や第6波への懸念など、まだまだ私たちが安心して生活できる状況にはありません。引き続き、基本的な感染防止対策の継続をお願いいたします。

本年は、市の観光の玄関口である登別地区に開設する『(仮称)登別市情報発信拠点施設』の建設工事が始まり、令和4年度末の供用開始を目指しております。

また、令和7年度の供用開始に向けた『登別市消防庁舎』の建物の本体建設工事の開始や令和8年度の供用開始に向けた『新たな本庁舎の整備』に伴う基本設計業務への着手など、将来にわたって『住み続けたい、住んでみたいと思える魅力あるまち』に向けたさまざまな施策を展開し、活気に満ちあふれた魅力あるまちづくりを推進してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。